

広報「みやわか」が、あなたの生活に欠かせない「話題」と「情報」をお届けします

# 宮若生活

Public Relation Magazine **Miyawaka city**

私が響く、きらめく、ステージへ

第九inみやわか

193日目の歓喜

2

2011

NO.061

「ちょっと話したいことがあるんですけど。」  
6月16日、地域住民のためのコンサート実行委員会の会議が終わった直後、加護ひかりさんは同じ委員の三島一仁さん呼び止めま

## 思いをカタチに… 第九 in みやわか 誕生秘話

「第九のイベントを宮若で実現させたい」。  
1つの思いから始まりました。  
宮若市の新しい文化はどのように産声を上げたのでしょうか。

演奏者の問題がすぐに浮上りました。でも、吹奏楽なら地域の中学校や高等学校で盛んに活動していることか

# Prologue

歌唱指導にも熱が入る加護さん。運営も合唱も演奏者もゼロからスタートだった第九 in みやわか。手探りの中からの船出となりました。



アスタップを募集したところ合唱だけで、百二十人の皆さんが集まってくれました。吹奏楽の演奏者などを

そんな一つの思いから多くの人が集まり、取り組みを始めた第九 in みやわか。運営から合唱指導、演奏者の募集まで白紙の中、スター

# 宮若生活

- 1 私が響く、きらめく、ステージへ  
第九 in みやわか
- 2 旬人 原田正枝さん
- 10 Miyawaka Watching
- 12 M for More INFO【もっと市政情報】
- 28 きらびと



特集 まちのわだい 公民館トピック リーダーズスタイル

## 宮若生活ナビゲーション MiyawakaLife Navigation

- 16 公民館トピック
- 18 今月の健康
- 20 図書室だより
- 22 リーダーズスタイル
- 24 イベント・ニュース



【表紙説明】  
昨年12月26日に行われた第九 in みやわかの特集です。弦楽器は弦の振動が駒を伝わって「F字孔」と言われる穴から共鳴して音色を奏でること。今回の取り組みも弦の役割をする人。駒の動きをする人。そして「F字孔」のような共鳴する人々の上に成り立っていたように感じます。そんな思いを表現してみました。

地域と行政機関を結びつける  
接着剤のような存在。  
それが民生委員・児童委員ではないでしょうか



原田正枝さん (はらだまさえ)・所田地区民生委員児童委員

「地域の人に愛される人になることが一番。だから地域に何かあれば、一番に駆け付けなさい。」  
先月の広報でもお伝えしましたが、民生委員児童委員の改選があり、それぞれの地域の委員さんを紹介しました。所田地区を担当する原田正枝さん。現在の委員の中でもっとも長い経験があり、時代とともにその役割も少しずつ、変わっていることを感じていると話してくれます。

「昔は民生委員といえば、生活保護を申請する人の手助けをすることが一番の役割だったと思います。でも現在は違いますよ。子どもに対する虐待や高齢者の孤独死など、いろいろな問題があります。私たち民生委員に求められるのは地域と行政機関を結びつける接着剤のようなものだと思います。」  
原田さんは昨年の12月17日にこれまで民生委員の会長を務めてきた北村公夫さんを訪ね、これからの民生委員に求められることを聞きました。すると冒頭の言葉を掛けてくれたのです。

## 旬人 vol.46

私が響く、きらめく、ステージへ  
第九 in みやわか  
193日目の歓喜



中村悦子さん

「本当にすごかったんです。練習にはない、『気』みたいなものがステージにあふれていました」と、本番の様子を話すのは「女声コーラス元氣」の指導に取り組んでいる西村喜美子さん。  
「平成16年だったと思います。歌を歌いたかったので指導してくれませんかということとで三人で始めたのがきっかけです。学生時代から音楽に携わり、大学も音大を選び音楽を専攻しました。そんな地元のサークル活動を通して歌を歌う仲間が少しずつ広がっていったんです。」  
中村悦子さんは宮田中学校で計良洋美先生との出会いが音楽に対して、また自身自身にも自信が湧いたきっかけとなったと話します。「先生との出会いをきっかけに、『ピアノ科を専攻し、青年の船では世界の人たちと音楽を作り上げていく経験もすることができました。西村さんとも紹介を通して出会って一緒に活動させていたでいます。」  
今回の第九の取り組みの中で西村さんには一つのこだわりがありました。「女声コーラス元氣のメンバーの参加はありましたが、多くの皆さんが初心者、お客さんに披露できるレベルまで高めることができるのかという不安がありました。パート練習をしっかりと積み重ねた上で、全体とのバランスを調和していく方がよいと思っていましたが、参加した皆さんから、全

「私は舞台には立っていませんが、皆さんのエネルギーに圧倒されました。音楽を通して老若男女問わず、一つになることができることを改めて感じました。今回の出会いやエネルギーはきっと地域の活動に広がっていくと思います。第九の取り組みはこれで終わりません。新しい一歩をまた踏み出していきます。」  
体イメージがわからないことからパート練習がうまくいかないという声も頂いたのです。百人を超える合唱団をまとめていく難しさを感じました。  
そんな中でも私がこだわっていたのが、歌詞をドイツ語ではなく日本語で歌うことでした。田川郡川崎町や飯塚市で行われている第九はドイツ語です。音楽に携わる人は当然ドイツ語だろうと思っただけではないかと思いましたが、日本語にすることでその歌詞の意味を理解して歌っていたらどうかとわかってやさいと思えました。結果として日本語で歌うということが宮若市の第九の個性の一つになるのではないかと思います。」  
中村さんは舞台の袖で本番を迎えます。「私は舞台には立っていませんが、皆さんのエネルギーに圧倒されました。音楽を通して老若男女問わず、一つになることができることを改めて感じました。今回の出会いやエネルギーはきっと地域の活動に広がっていくと思います。第九の取り組みはこれで終わりません。新しい一歩をまた踏み出していきます。」

このまちで第九を歌うということ  
第九に込めた、私のこだわり

地域の合唱団で指導にあっている西村喜美子さんと中村悦子さん。第九 in みやわかの実行委員として活動しました。第九に込めた思いとこだわりを伺います。



西村喜美子さん

「最初は伴奏を学生さんにまかせていたのですが、学校のスケジュールなど重なることが多く、大変苦労していました。そんな中、平成18年だったと思います。中村悦子さんとの出会いがあったんです。」

「最初は伴奏を学生さんにまかせていたのですが、学校のスケジュールなど重なることが多く、大変苦労していました。そんな中、平成18年だったと思います。中村悦子さんとの出会いがあったんです。」



7



6



1

5 合唱団のほかに、ソリストも4人参加しました。ソプラノ井野翔子さん(写真)のほか、アルトを加護ひかりさん。テノールを大庭和久さん。バリトンを松岡良彰さんが担当し、美しい歌声を披露。6・7・8 20分という、長くもまた短くもある歓喜の歌を響かせる皆さん。構想から実現まで193日間の思いを胸に、それぞれが力強く歌い上げました。



8



5



3



4



2

1 350人以上のお客さんが来場した本番当日。立ち見席も満席でした。2 舞台袖で出番を待つ合唱団の皆さん。数分後に本番を迎えるとあつて緊張した空気が張り詰めています。3 第2部の開演の瞬間。会場のお客さんの顔が見えてきました。4 演奏が始まり、ひな壇に立つ合唱団の皆さんの緊張もさらに高まっていきます。

私が響く、きらめく、ステージへ  
第九 in みやわか  
193日目の歓喜

小林杏奈 さん [Anna Kobayashi]

社会人になると思った以上に楽器に携わることが難しいことを実感しました。今回のような取り組みを通して地域を元気にしたいですね。



「女性だったのですが、その先輩のマーチングがとて  
もかっこよかったです」  
と、話すのは小林杏奈さん。

「あこがれの先輩がいる吹奏楽部に入部し、トランペットを担当しました。そして、高校に進学後も楽器を演奏して来ました。でも、それ以降となると楽器を演奏する場所がないことに気が付かされました」。

幼稚園の先生を目指して短期大学に進学後は市内で活動するマリーブラスに所属している小林さん。  
「今、若宮幼稚園で仕事をしていますが、園児の歌の指

導に来ていただいている加護ひかりさんから第九のイベントの話聞き、勧められたのをきっかけに参加しました。

まず、練習の会場に行っ  
てびっくりしたのは、これまで生活してきたのまに、こんなに音楽が好きで人がいたこと。歌う人だけで百二十人近くもいるんですから。第九を通して、これまで出会うことがなかった人たちの出会いがあったことに感謝しています。

この出会いは、私自身の人間の幅もこれまで以上に広がってくれました」。

それぞれが迎えた、12月26日

# 第九 in みやわか、私に残る193日間

6月16日、地域住民のためのコンサート実行委員会の会議が行われてから、12月26日の本番までの193日には出演者のいろいろな思いが込められています。ここでは3人の出演者に第九 in みやわかを振り返っていただきます。



辰井正明 さん [Masaki Tatsui]

第九を通じて仲間が広がっていくということは、音楽に人を引きつける何かがあるということ。「第九 in みやわか」がそれを証明してみせたのではないのでしょうか。

「もし、この取り組みに始めから参加していたら反対だったかもしれない」と、語るのには指揮を担当した辰井正明さん。

「誤解をしないように付け加えればそれほど難しいことなんです。音楽に携わって三十年以上の経験を踏まえても、半年もない時間の中で、演奏者も合唱団も一から作り上げていくことがどれほど大変なことか想像に及びません。でも、今回の取り組みを通して一人ひとりが動けられるんだということを思い知らされました。音楽としての完成度はそれほど高いものではなかったのかもしれない」。

しかし、音やテクニクを超えて人に伝えようとする強いハートは何にも変えられないものです。もしかしたら最高の場所では皆さんの熱い思いを受け止めていたのは私かもしれません。今田川市に住んで、さまざまな所で指導させていただいていますが、このような取り組みを市民の皆さんの手で行った宮若市を本当にうらやましいと感じています。ぜひ、今回で終わることなく、引き続き取り組んでほしいと願っています」。

合唱団と演奏者、そして観客席が一体感に包まれた空間をいかに作り上げるか。ステージに立つ人だけでなく、観客の皆さんの姿勢も大切だと話す佐本さん。



「改めて感じたことは上手に演奏すればいいということではなく、伝えたい思いが強ければ音楽は人を感動させることができるということです」と、音楽の魅力を再確認する佐本浩一郎さん。  
「家庭が音楽一家であったことから、楽器に触れることがそれほど特別なことではありませんでした。当然のように中学校では吹奏楽部に入り、トロンボーンを担当。二年生時には個別レッスンを受けていました」。

高校、大学でも音楽を続け就職をきっかけにこの宮



佐本 浩一郎 さん [Kouichirou Samoto]

当時は合唱団が一番近いところで演奏していましたが、後ろから伝わってくる圧力が練習に比べて全く違うことに驚きました。お客さんにこれまでの練習の成果を伝えるんだという気迫を感じました。

若市にやってきました。

「こちらにきて三年になりますが、今回の第九のような取り組みに始めから携わらせていただいたことに感謝しています。不安なこともありました。成功させるんだという思いがあれば、できないことなどないですね。今回は運営面から手探りの状態で進めてきましたので次回も開催できれば、今回以上に参加者の皆さんと親交を深める時間があるのではないかと考えています。そう思うことでもっと宮若市の文化活動が盛んになることを願っています」。



「私たちが無意識に求めているもの。それがつながりではないでしょうか。そう語り出すのは釜場弘則さん。「人は一人では生きていけません。人とつながっていたいという気持ちが必ずあるはず。ただ、きっかけは必要かもしれません。今回の第九の取り組みは、熱心な先生方の指導のもと、歌が好きなたら一つ一つ上げてもらった意味で、意義のあるものだったと思います。」

「飯塚市の合唱団に参加したほどです。」  
釜場さんは登山に畑仕事に忙しい毎日を通す一方で、奥様の信子さんが大学でピアノ科を専攻していたこともあり、その指導のもと作詞作曲しては二人で音楽を楽しんでいるとのこと。  
「合唱の良いところは一人だけが飛び抜けて声を出せばいいというものではありません。一人ひとりがバランスよくハーモニーを作ること、完成するものだと思います。だからこそ、誰一人として欠けてはいけません。今回初めて顔を合わせたという人もたくさんいました。音楽を通して広がったつながりの「輪」はかけがえのないものです。私のような年配者にとって、魅力的な先生方から教えてもらう環境は学生時代に戻ったような気持ちになり、若返らせていただきます。」

← 193日目の歓喜で1つになっている出演者の皆さん。そしてこの瞬間から次のステージへのスタートラインでもあります。次回にはどのようなステージで私たちを魅了させてくれるのでしょうか。

「妻と離れて生活して十年が経過したときでした。妻と電話で話をしていた様子がおかしいことに気付いたんです。急いで妻のもとに駆けつけました。病院で検査をすると『硬膜下出血』であることが判明。幸い、程度が軽いこともありましたが治療に専念するため、宮若に戻ることになりました。」  
そして今回のイベント。音楽が好きなたらと一緒に同じ舞台上に立ち、歌えたことは個人的にも熱いものが込み上げてきました。  
今回の成功を受け実行委員会には次回への期待を寄せていただいています。そんな中、周囲から実行委員長をしてくれないかと持ちかけられたのです。私はこのつながりを一度で無くしてしまうことがもったいないと考え、引き受けることにしました。  
これからどこを目指して取り組んでいくかは皆さんと一緒に考えていきますが、今度のもっと多くの人に参加していただき、立派なオーケストラにも負けないよう、合唱のレベルを上げたいですね。もちろん、楽しみながらですが。」

## 歌声が響く、そしてつながる 第九 in みやわか この先どこを目指しますか

大成功を収めた第九 in みやわか。  
早くも次回の開催に期待を寄せる声があがっています。  
音楽を通して伝えたい思いとは。次期実行委員長長の釜場弘則さんに伺います。



*What's Next Stage...*



広報担当がどこにでも取材に行きます！

どこかにあなたの知っている人がいるかもしれない

まちの話題やイベントを紹介するこのページの名は…

# Miyawaka Watching

## 寛平さん、宮若を駆ける

### ▶ 間寛平さん、アースマラソンで宮若を走る

1月5日、マラソンとヨットで地球を一周するアースマランに挑戦している間寛平さんが、宮若市を快走しました。

午前11時52分に犬鳴トンネルから姿を現した間さんは沿道からの「頑張れー」という声援に手を上げて応えていました。仕事で北九州市に向かっている男性は「トラックで走っていると寛平さんだと気付いて先回りして応援しようと思いました。まさかここを走っているとは」と興奮した様子。この日は鞍手町まで走った間さんは21日、無事にゴールである大阪に到着することができ、アースマラソンを駆け抜けることができました。



## 新春防災を誓う

### ▶ 宮若市消防出初式、宮若市鞍手郡連合消防出初式

1月16日、宮田文化センターで宮若市消防出初式と宮若市鞍手郡連合消防出初式が行われました。前日からの降雪の影響により屋内での開催となりましたが、会場内には今年1年の防災への思いを新たにす消防団員の郷土愛で熱気に包まれていました。

勤続功労や優良団員などの表彰後には宮若司書太鼓による力強い演奏が披露され、地域の連携と共に防災力の向上を誓いました。



## 最先端の技術を集結、開花へ

### ▶ トルコギキョウ冬季計画生産技術の確立へ

1月20日、若宮花倶楽部団地圃場で、トルコギキョウの公開現地検討会が行われました。トルコギキョウを1年を通じて生産するために若宮花倶楽部は6年にわたって研究を重ね、その生産技術を確認。公開検討会には、北海道から沖縄まで研究機関などの関係者が集まりました。

若宮花倶楽部の組合長である有吉博文さんは「冬にトルコギキョウを咲かせることはできないと言われてきましたが、試行錯誤の結果、高品質な花を咲かせることができました」と、今回の挑戦で安定して出荷させることができる体制への手応えをつかんでいました。



## 旧庁舎の思い出話に花を添えて

### ▶ 旧若宮町役場庁舎お別れ式

12月27日、若宮総合支所で庁舎お別れ会を行いました。市議会議員や地元自治会の皆さんなど40人の皆さんが出席しました。

昭和31年に若宮町役場の庁舎として開所し、町の中心拠点としての役割を担ってきました。宮若市誕生後は総合支所として利用し、55年間にわたってまちづくりの拠点として機能してきました。お別れ会では若宮町役場の職員や町議として活動してきた有吉榮一さんが庁舎への思いを語り、慣れ親しんできた庁舎への名残惜しさを語りました。この庁舎は現在解体中で、跡地は若宮コミュニティセンターの駐車場として利用することになります。






## 世界チャンピオンがふる里に凱旋

### ▶ DA PUMP 中村朋揮さん、有吉市長表敬訪問

1月4日、ダンスボーカルグループ「DA PUMP」の一員として活躍している中村朋揮さんが有吉哲信市長を表敬訪問しました。テレビで見たダンスに感動し取り組んだ中村さん。そこから見よう見まねで練習を積み重ねます。高校生では大会に優勝するなど周囲からも注目を集め、昨年5月には日本代表として世界大会に出場し、チャンピオンを獲得しました。

有吉市長から、市内のイベントなどに出演して欲しいかというお願いに「ダンスの楽しさや素晴らしさを伝えていく活動を通して地元へ貢献したいですね」と実現に前向きな話をしてくれました。

 あべ あやと 安部 礼人ちゃん H 22年2月24日生 (沼口) 1歳のお誕生日おめでとう！とってもかわいいスーパースマイルでみんなを癒してね♡	 あらまき ゆうさく 荒牧 裕作ちゃん H 21年2月24日生 (水原) 2歳のお誕生日おめでとう。元気いっぱいに育ってくれて感謝しています。	 いのうえ たいすけ 井上 泰佑ちゃん H 20年2月12日生 (芹田) 3歳のお誕生日おめでとう。これからも病気しないようにたくさん遊んで大きくなってね！	 いのうえ ゆりか 井上 侑里香ちゃん H 22年2月22日生 (芹田) 1歳のお誕生日おめでとう。これからもたくさん食べて元気いっぱいいなミス・宮若になってね！	 いわさき さくら 岩崎 咲夢ちゃん H 22年2月27日生 (金丸) 1歳のお誕生日おめでとう♡よく食べてよく遊ぶようになったね。これからも元気に育ってね。	 うえき ゆあ 植木 結愛ちゃん H 20年2月27日生 (長井鶴) 3歳のお誕生日おめでとう。最近お姉ちゃんらしくなったね。これからも元気に育ってね。	 うえはら けんたろう 上原 健太郎ちゃん H 22年2月4日生 (磯光) はじめての誕生日おめでとう。これからもパパとママの大好きな笑顔をたくさん見せてね♡
--	---	--	---	--	--	---

 えぐち はると 江口 大翔ちゃん H 21年2月5日生 (磯光) 2歳のお誕生日おめでとう。これからも友達と仲良くしてね！	 かわはら あゆみ 川原 歩美ちゃん H 20年2月20日生 (磯光) お兄ちゃんたちが大好きな歩美ちゃん。これからも元気で仲良く大きくなってね。	 さいとう りん 齊藤 凜ちゃん H 21年2月6日生 (金丸) 2歳のお誕生日おめでとう。楽しそうに歌って踊る姿は家族のビタミンです。みんな大好きだよ♡	 しおかわ はるや 塩川 遥矢ちゃん H 21年2月25日生 (鶴田) 2歳のお誕生日おめでとう♡たくさん言葉を覚えていっはいおしゃべりしようね！	 しみず さゆき 清水 咲薫ちゃん H 21年2月20日生 (金丸) アンパンマン大好き。いつも元気いっぱい遊んでね♡	 たなか あん 田中 杏ちゃん H 22年2月9日生 (本城) 1歳のお誕生日おめでとう。これからもお姉ちゃんとして元気に育ってね。	 つかざき ひな 塚崎 陽菜ちゃん H 20年2月2日生 (福丸) 3歳のお誕生日おめでとう♡陽菜ちゃん笑顔が大好き♡
--	---	---	---	---	--	---



みやわか  
M for More Info

宮若市暮らしの便利帳

## 宮若市暮らしの便利帳発行へ 株式会社サイネックスと協定

● 問い合わせ 本庁秘書広報係 ☎ 32・0511

### 宮若市暮らしの便利帳調印式



協定書にサインをし、握手を交わす有吉市長と村田社長。「旧宮田町のときに一度発行しましたが、財政的な面から継続することができませんでした。市だけで発行することが難しい中、このような事業に取り組めることはありがたい」と有吉市長。



みやわか  
M for More Info

火葬場整備

## 新火葬場の利用料が決定しました

● 問い合わせ 本庁環境対策係 ☎ 32・0516

### 利用料

区分	単位	使用料	
		市内	市外
12歳以上	1体	20,000円	70,000円
12歳未満	1体	12,000円	45,000円
死産児	1体	5,000円	12,000円

※ 身体の一部や改葬遺骨については死産児の取り扱いとなります

**火** 葬場は旧両町でそれぞれ建設し、活用してきましたが、老朽化が激しく修理を繰り返しながら利用してきました。今回、建設地である地元の皆さんの協力により整備を進めてきました。その整備する主な財源は合併特別債を活用しており、火葬場整備も合併の効果の一つとなります。

今年4月の利用開始を目指し、現在本体工事のほか、外構整備にも着手しています。その新火葬場の利用料が決定しましたのでお知らせしていきます。



建設中の新火葬場

宮若市自治基本条例



みやわか  
M for More Info

## 市民が主役のまちづくりへ 宮若市自治基本条例を制定

● 問い合わせ 本庁まちづくり推進係 ☎ 32・0512

### 自治基本条例は、まちづくりの基本原則を定めるもので、「自治体の憲法」とも呼ばれています。地方分権以降、自治体運営は国や県からの権限委譲により、その運営の自由度が増える一方で、地域の将来像を自ら描き、地域の個性を生かしたまちづくりを主体的に進めていく自己決定、自己責任、自己負担をしていくことが求められます。

今回制定した宮若市自治基本条例は、市のまちづくりを、「誰が」「どのような仕組みや制度によって」「どのように行っていくか」という基本原則を明らかにし、自分たちのまちの課題は自分たちで解決するという市民自治によるまちづくりを進めていくルールとなるものです。つまり、協働のまちづくりを進めていくという事です。

### 情報の共有と まちづくりへの 積極的な参加

自分たちのまちのことは、自分たちが一番よく分かるはずですが、だからこそ、私たち市民一人ひとりがまちづくりに参加し、みんなで考え、話し合い、解決していくことが大切です。それが「協働のまちづくり」です。宮若市自治基本

### 身近な まちづくりに 参加する

身近な地域のまちづくりに参加し、それぞれの地域で行われている「地域をより良くしていく活動」に参加することが大切です。



### 情報を 共有すること から始める

市では何が行われているか、何が問題なのかなどの情報をみんなで共有することが大切です。



● 事例 ▼ 広報やホームページ、パンフレットを見て情報を取り入れる。

▼ 出前講座を活用して市の動きを知る。

▼ いろいろな説明会に参加することで情報を入手する。

● 事例 ▼ 地域のごみ拾いや草刈りなどの作業を通して地域の皆さんと交流をする。

▼ 高齢者の暮らしのお手伝いをする。

▼ 登下校時などに子どもたちの安全を守るためにパトロールなどを行う。

過程を透明にすることができ、公正に手続きを進めていくことができます。

● 住民投票制度 これまでにもある住民投票制度とは異なり、市が市民の皆さんの意見を聞くために行う住民投票のことです。これには法的な拘束力はありませんが、市民の皆さんの意見を直接聞くことができる新しい制度です。



● 職員が地域担当制度 市の職員を地域に派遣する制度です。地域活動の計画策定やいろいろな問題に対する相談などに対応します。

● 職員の地域担当制度 市の職員を地域に派遣する制度です。地域活動の計画策定やいろいろな問題に対する相談などに対応します。

● パブリックコメント制度 条例や基本計画など市の重要な政策を決めるときに、広く市民の皆さんの意見を集め、意思決定に反映していくものです。

このような制度を取り入れていくことで、宮若市の意思決定

● 審議会などの委員の公募 現在でも審議会などへ市民の皆さんに参加していただいています。公募の方法などを明文化します。

● 審議会などの公開 これまでも審議会などは非公開にはしていませんでしたが、公開する仕組みもありませんでした。今後は、原則的に公開することにより、市政の透明性を確保し、市民の皆さんの理解を深めることができると考えています。

この宮若市自治基本条例は今後、市民の皆さんと議会、行政が協働でまちづくりを進めていくことを明確にするための理念や仕組みを定めたものです。条例の条文など詳しい内容については、宮若市公式ホームページでも紹介しています。ご確認ください。

市営住宅入居者募集	社会福祉センターの入館料	資源拠点回収	ふるさと納税
-----------	--------------	--------	--------



みやわか  
M for More Info

資源拠点回収

## 資源拠点回収で ごみの減量化を始めませんか

● 問い合わせ 本庁環境衛生係 ☎ 32・0516

### 資源拠点回収事業



**市**では、ごみとして捨てられていた資源物を有効に利用し、ごみの減量を図るため、資源物の拠点回収を行っています。平成21年度は、市民の皆さんのご協力により七十トンもの資源を持ち込んでいただきました。(本庁・支所会場集計分)

家庭内で分別を徹底すると驚くほどごみが減ります。まだ、利用したことがないあなたも資源回収を始めてみませんか。

※週によってイベントなどの都合で回収場所が異なることがありますのでご注意ください。

※資源拠点回収で持ち込むことができるものは限られています。次のものは回収することができませんので参考にしてください。

● 回収できる物 空き缶、空きビン、ペットボトル、白色トレイ、発泡スチロール、衣類、ビニール袋、紙類(新聞、ダンボール、雑誌、牛乳パック、その他の紙)です。

※汚れがついていないきれいなものが対象となります。空き缶や空きビン、ペットボトル、白色トレイはよく水洗いして持ってきてください。詳しい内容については、本庁環境衛生係までお問い合わせください。

回収日	回収場所	回収時間
第1週目の日曜日	くらじクリーンセンターストックヤード棟	午前9時から正午まで
第2週目の日曜日	本庁裏駐車場(福祉事務所前) 保健センターパレット	
第3週目の日曜日	くらじクリーンセンターストックヤード棟	
第4週目の日曜日	本庁裏駐車場(福祉事務所前) 保健センターパレット	



みやわか  
M for More Info

宮若市輝くふるさと応援寄付条例

## 宮若市を応援してくれるあなたへ ふるさと納税をご利用ください

● 問い合わせ 本庁企画調整係 ☎ 32・0512

**平**成20年から「ふるさと納税」制度がスタートしました。この制度を機会に、ふるさと納税制度を有効に活用していただくため、市では「宮若市輝くふるさと応援寄付条例」を制定し、寄付をしていただいた人の思いを施策に反映できる仕組みを整えました。これは、寄付金の使道を寄付する人に決めていただくというものです。

**住民税や所得税から寄付控除されます**

住民税は寄付金の五千元を超えた額の一部が、所得税は二千元を超えた額の一部が控除される仕組みです。寄付金は一口五千元から受け付けています。寄付金額に上限はありませんので何口でも結構です。ただし、寄付控除を受けられる額に制限がありますのでご注意ください。

**申し込みは、本庁企画財政課へ**

住所、名前、電話番号、メールアドレスを郵便や電話、ファクス、電子メールで連絡すると、「宮若市輝く

### 平成22年度実績 (12月末現在)

応募人数・団体数	26人・1企業
応募件数	27件
寄附金	2,920,000円

ふるさと応援寄付制度に関する資料を送付します。

● 配布資料 ▼宮若市輝くふるさと寄付のご案内▼寄付控除の手引き▼宮若市輝くふるさと寄付申込書▼振り込み方法の希望調査▼返信用封筒▼第一次宮若市総合計画概要版▼みやわか市本「観光マップ」▼宮若市勢要覧

**寄付の呼び掛けにご協力を**

このふるさと納税制度は、「自分が生まれ育ったふるさとに貢献したい、自分とかわりの深い地域を応援したい」との観点から新たに作られた制度です。

市外にお住まいの親せきや知人の人に「宮若市輝くふるさと応援寄付制度」の周知を皆さんの呼びかけを通してお願いいたします。

市営住宅・県営住宅空家の入居者募集



みやわか  
M for More Info

## 市営住宅・県営住宅の入居者を募集します

● 問い合わせ 本庁住宅管理係 ☎ 32・0955  
県住宅供給公社県営住宅管理部 ☎ 092・781・8029

**お**住まいに困りの人を対象に、市営住宅と県営住宅の入居者募集を行います。

### 市営住宅入居者募集

- 受付期間 1月31日(月)から2月10日(木)まで
- 申込書配布 本庁住宅管理係、支所市民グループ
- 募集団地 ▼勝負尻団地
  - Ⅱ一戸・単身可▼新笠松団地Ⅱ一戸・単身可▼和の里団地Ⅱ二戸▼矢萩団地Ⅱ一戸▼あけぼの団地Ⅱ一戸▼新成団地Ⅱ一戸▼鍋田団地Ⅱ一戸▼乙野団地Ⅱ二戸・内一戸単身可
- 募集団地や戸数については、災害発生などにおいて募集を行わないなど変更になることがあります。
- 申込資格 ①市内に住んでいるか、勤務場所がある人。同居している親族がある人、同居しようとしている親族がある人(単身での申し込みの場合は、①③④⑤⑥の条件を満たし、独立した生計を営むことのできる人。
- 申込資格 ①市内に住んでいるか、勤務場所がある人。同居している親族がある人、同居しようとしている親族がある人(単身での申し込みの場合は、①③④⑤⑥の条件を満たし、独立した生計を営むことのできる人。
- 申込資格 ①市内に住んでいるか、勤務場所がある人。同居している親族がある人、同居しようとしている親族がある人(単身での申し込みの場合は、①③④⑤⑥の条件を満たし、独立した生計を営むことのできる人。
- 申込資格 ①市内に住んでいるか、勤務場所がある人。同居している親族がある人、同居しようとしている親族がある人(単身での申し込みの場合は、①③④⑤⑥の条件を満たし、独立した生計を営むことのできる人。

害がある人などであっても、居宅において必要な介護を受けられる人も含まれます。ただし、床面積四十四平方メートル以下の住宅に限ります。

③ 現在、住宅に困っている人。

④ 申込者と同居親族の総所得が月額十五万八千円以下である人。申込者が老人などである場合は、総所得が月額二十一万四千円以下の人。

⑤ 申込者や同居親族が暴力団員でない人

⑥ 過去に市営住宅に入居していた人は、無断での退去や家賃滞納など、不正な使用などをしたことがない人に限ります。

● 公開抽選会 3月下旬(予定)

### 県営住宅入居者募集(抽選方式)

- 受付期間 3月1日(月)から9日(木)まで
- 募集団地 県内に所在する県営住宅
- 対象団地や戸数については募集案内書に掲載してありますのでご確認ください。
- 申込書配布 本庁住宅管理係、支所市民グループ

社会福祉センター入館料



みやわか  
M for More Info

## 4月1日から 社会福祉センターの入館料が変わります

● 問い合わせ 社会福祉センター ☎ 32・0335  
本庁人権福祉係 ☎ 32・0765  
支所福祉グループ ☎ 52・1113

区分			料金	
			市内在住者	市外在住者
入館料	個人	中学生から59歳まで	250円	400円
		3歳から小学生まで	120円	
		60歳以上の人		
		障害のある人		
	団体	20人以上	上記の1割引	

**昨**年、社会福祉センターのバリアフリー化を目的とした工事を行い、11月11日にリニューアルオープンを行いました。4月1日から入館料が変わることになりましたので、ご紹介いたします。

市内に住んでいる皆さんはこれまで通りですが、市外から利用する皆さんは一律四百円に変更しました。料金の一覧表を掲載してありますので、ご確認ください。

このように市内在住者と市外在住者の入館料が異なることから、市内に住んでいる皆さんが利用するときは、市内在住を証明する書類の提示が必要になります。住民基本台帳カードや運転免許証、保険証や身障者手帳などの提示をお願いします。

また、社会福祉センターや本庁人権福祉係、支所福祉グループが発行する「宮若市社会福祉センター利用証」の申請も受け付けます。発行を希望する人は身分証明書と印かんが必要になります。不明な点はお問い合わせください。

身分証明書としての役割をもっている住民基本台帳カードは、3月31日まで無料で発行することができます。4月からは手続きが有料となります。申請は本庁市民係 ☎ 32・0514)でお願いします。







まちの知らない歴史に直接触れることができる絶好の機会です。皆さんの参加をお待ちしています。



### 市の近代化遺産を歩いてみませんか

- 今** 回で三回目となる宮若市歴史探訪。今回は日本の近代化を支えた石炭産業の一端をまわるコースです。
- **とき** 3月6日(日)、午前8時集合、8時15分出発(小雨決行)
  - **集合場所** 中央公民館
  - **コース** 中央公民館→謝恩碑・須徳碑→旧国鉄筑前宮田駅→プラトホルム跡→二坑引込線跡→貝島本社跡→石炭記念館→二千年公園→東町アーケード→天照宮→貝島太市像→犬鳴川河川公園→中央公民館(詳しい内容は中央公民館、中央公民館若宮分館、なびきホールなどに配架しているチラシでご確認ください)
  - **定員** 百人(定員になり次第締め切ります)
  - **申込締切** 2月28日(日)まで
  - **申込先** 電話で本庁文化振興係(☎32・0123)までお申し込みください。
  - **参加料** 二百円(保険料、豚汁代)
  - **問い合わせ** 宮若市文化連盟事務局 ☎52・1401

### 千石峡青少年野営訓練所の利用申し込みが始まります

- **申込開始**▷市内利用者=2月1日(日)から▷市外利用者=3月1日(日)から
- **開所期間** 4月1日(日)から9月30日(日)まで
- **利用対象者** 4人以上の団体
- **日帰り使用料**(小学生以上1人当たり)▷市内利用者=210円▷市外利用者=420円
- **宿泊料**(小学生以上1人当たり)▷市内利用者=315円▷市外利用者=630円
- **申込み・問い合わせ** 本庁社会教育・公民館係 ☎32・0123

### 宮若市で奏でるピアノ三重奏 ピアノトリオ・ミュゼコンサート



宮田北小学校の児童生徒による「輝くふるさと」のピアノトリオ・ミュゼコンサート。演奏は、観客席から大きな拍手がわき起こりました。

**地** 域でクラシック音楽を身近なものとするため、演奏家を公共ホールに派遣する事業の一環で、ピアノトリオ・ミュゼコンサートを行いました。

市内三小学校を訪問し、演奏を行うなど、普段触れる機会が少ないバイオリンやチェロの音色に魅了されました。22日に行われた演奏会では、宮田北小学校と宮田北小学校の児童生徒による「輝くふるさと」のピアノトリオ・ミュゼコンサート。演奏は、観客席から大きな拍手がわき起こりました。



### 大湾昇さんの講演を行います

- 大** 湾昇さんは、昨年10月、吉川小学校の地域懇談会の講師として話をしてくださいました。
- 川小学校の地域懇談会の講師として話をしてくださいました。懇談会の出席者からも「元気をもらった」、「今までで一番感動した」、「テンポが良く、あっという間に時間が過ぎた」、「もう一度聞きたい」といった感想を多く寄せていただきました。
- 大変好評だった大湾昇さんの講演をマリーホール宮田で行います。皆さんの来場をお待ちしています。
- **とき** 2月25日(日)、午後2時から4時まで(受付は1時30分から)
  - **ところ** マリーホール宮田
  - **演題** 「出会いと表現」〜「関係ない」から「関係ある」へ〜
  - **託児** 2月15日(日)までにご連絡ください。
  - **問い合わせ** 本庁社会教育・公民館係 ☎32・0123



■ 301人の新成人を迎えた宮若市成人式。小雨が降る中での開催となりましたが、214人の皆さんが出席しました。■ 会場のいたるところで記念写真を撮っている姿がありました。■ 宮田北小学校6年生の児童5人が励ましの言葉を伝えました。■ 新成人を代表して松井豊さん。「若い私たちがアイデアを出し、地域をそして社会で活躍していきたいです」と、成人としての決意を語りました。



Coming of Age Ceremony 平成23年宮若市成人式

### あで艶やかな晴れ着に身を包む平成生まれの新成人

301人を新成人に迎え、宮若市では1月9日に宮田文化センターで成人式を行いました。祝辞に立った有吉哲信市長は「不況が長らく厳しい時代の中にありますが、地域に感謝し大きな志をもって活躍してほしい」と、新成人を激励。また宮田北小学校の児童による励ましの言葉も贈られました。その後、実行委員が企画するはたちのつどいでは、恩師が寄せたビデオレターの上映を開催。東京から駆けつけた月足まりなさんは「久しぶりの旧友との再会を楽しんでいます」と話してくれました。

離乳食教室を行っています



「離乳食がワンパターン化してしまうので勉強にきました」と参加した八窪さん。保健センターパレットでは栄養士による離乳食の作り方のポイントなどを実際に調理を進めながら説明します。

「離乳食はおいしくないと思われがちですが、そんなことはありません」と話すのは栄養士の桑原真由美さん。「皆さんが離乳食で悩んでいることなどわかりやすく答えますので、ぜひ、参加してみませんか」。

成長に併せ、前期と後期に分けて行っています。詳しい内容はお問い合わせください。

●お問い合わせ 保健センターパレット ☎55・6000

すこやか食育教室

親子で料理を作りながら、幼児期からの食生活を学ぶ教室です。幼い頃から食に接することで、食べ物の大切さを体験するよい機会です。

お子さんと一緒に参加してみませんか。事前に予約が必要です。(託児もありますので、必要な人は予約時にお申込みください)

- とき 2月25日(土)、午前10時から午後1時まで
- ところ 保健センターパレット
- 対象者 就学前の幼児とその保護者
- 申込期限 2月18日(土)まで
- ※定員(10組程度)になり次第締め切ります。
- 問い合わせ 保健センターパレット ☎55・6000

# 食生活改善教室に参加しませんか

人生90年と言われ、私たちの寿命は伸びています。しかし、生活習慣の乱れから生活習慣病がどの世代にも増えています。食生活改善教室を通してあなたの食生活から見直して見ませんか。



健やかに生き生きと人生を過ごすために

健康で心豊かな人生を送ることが重視されている今、四人に一人が65歳以上の高齢者という超高齢社会になりました。その一方で、健全な食生活が失われつつあり、生活習慣の乱れやメタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)によるがんや心臓病、高血圧症、糖尿病などの「生活習慣病」の増加が大きな問題になっています。

多くの人の願いでもある、「健やかに育つ」ことや「いきいきとした人生を過ごす」には、正しい生活習慣を身につけ、自分に適した食事をとることが大切です。これは将来の生活習慣病予防にもつながることです。

しかし、多くの情報が飛びかう中、思い込みによるまちがちな情報も起りやすく、食生活の改善となると、自分一人ではなかなか長続きしづらいのも現実です。

始めませんか、我が家の健康づくり

そこで市では、一人でも多くの人たちに健康についての正しい知識を知ってもらい、実行に移す実践力を身につけていただくことと、食生活改善教室を行います。この教室で得た知識と技術を生かして、家族や近所

※「今月の健康」の記事については保健センターパレットまで ☎55・6000

子宮頸がん・ヒブ・小児肺炎球菌ワクチン接種費用の助成を開始します

子宮頸がんワクチンは、20歳から30歳の女性に増加している子宮頸がんを予防するワクチンです。

ヒブワクチン・小児肺炎球菌ワクチンは、乳幼児に発病が多い髄膜炎などを予防するワクチンです。この3つのワクチンは任意の予防接種ですが、国の取り組みにより、市では2月からワクチン接種費用助成を行います。対象者へは個別に通知します。

▶子宮頸がんワクチン ▶病気=HPVというウイルスの持続的な感染が原因となって発症します。▶副反応=注射部位の痛みや発赤、腫れなどの局所反応と、軽度の発熱などがあります。

▶ヒブワクチン ▶病気=ヒブという細菌によっておこる病気、中耳炎や副鼻腔炎、気管支炎のほか、髄膜炎や敗血症などの全身性疾患を引き起こします。

ワクチン名	対象者	接種回数
子宮頸がんワクチン	中学校1年生から高校生1年生の女子	3回
ヒブワクチン	0歳から5歳未満の乳幼児	接種開始時の年齢により 生後2カ月から7カ月未満=4回 生後7カ月から12カ月未満=3回 1歳から5歳未満=1回
小児肺炎球菌ワクチン		接種開始時の年齢により 生後2カ月から7カ月未満=4回 生後7カ月から12カ月未満=3回 1歳から2歳未満=2回 2歳から5歳未満=1回

▶副反応=接種部位の発赤や腫脹、硬結、疼痛などがあります。これらは一時的なもので、数日以内になくなります。

▶小児肺炎球菌ワクチン ▶病気=肺炎球菌によって起こる病気、肺炎や髄膜炎、敗血症を起こします。その他にも中耳炎・副鼻腔炎・気管支炎の原因になります。▶

副反応=接種部位の発赤・腫脹、発熱などがありますが自然に回復します。

- 接種期間 2月1日(土)まで
- 接種費用 無料
- ところ 指定医療機関
- 問い合わせ 保健センターパレット ☎55・6000



食生活改善コースは毎月1回、テーマにそって講話や運動実技、調理実習を行います。1年を通して楽しく学んでみませんか。

- とき 4月20日(土)から平成24年3月14日(土)まで(内容はプログラムのとおり)
- ところ 保健センターパレット
- 対象者 20歳以上
- 定員 二十人
- 申込期限 3月25日(土)まで(定員になり次第締め切ります)
- 申込み・問い合わせ 保健センターパレット ☎55・6000

プログラム 午前9時30分から正午まで(調理実習は1時まで)

とき	項目	内容
4月20日(土)	開講式	健康づくりと食生活
5月18日(土)	お話	食生活を見直してみよう 栄養の基礎知識
6月22日(土)	お話	食事バランスのととり方 食品の組み合わせ方
7月20日(土)	調理実習	作ってみよう、バランスのとれた食事 調理の基本
8月24日(土)	お話	対象別の食育 子どもから高齢者までの食事
9月28日(土)	運動実技	生活に運動を取り入れよう 効果的な運動の仕方
10月19日(土)	運動実技	生活に運動を取り入れよう 自分にあった運動量
11月16日(土)	お話	生活習慣病の予防について 高血圧と糖尿病
12月21日(土)	調理実習	コレステロール、 中性脂肪を下げよう
1月18日(土)	調理実習	上手に食べてがんを予防しよう
2月8日(土)	調理実習	こつしょうじょう 骨粗鬆症、貧血を予防しよう
3月14日(土)	閉講式	さあ始めよう! 我が家の健康づくり

北欧の、おとぎばなしと雑貨たち  
斎藤志乃著、ピエブックス



人魚姫の作者、アンデルセンは北欧のデンマークで生まれました。おとぎの国のような北欧の魅力満載の1冊です。

いつまでも、いつまでもお元気で  
知覧特攻平和会館・編、草思社



国を思い、爆弾を抱えて敵艦隊に突入したのは、20代前後の未来ある若者たち。彼らが最後に書いた手紙は、純粋な思いが溢れています。

日本がもし100人の村だったら  
池上 彰編、マガジンハウス



「100世帯のうち26世帯は貯金がありません。2世帯は生活保護を受けています」。日本が抱える問題を身近に感じることができる1冊です。

高校生からわかるイスラム世界  
池上 彰編、ホーム社



世界の国々を知るためには、宗教は切り離せないものです。宗教から、世界で起きた出来事を学んでみませんか。

おうちで楽しむにほんの習わし  
広田千悦子著、技術評論社



日本で暮らしていても、この国の伝統や風習を知らない事に「ハッ」とすることがあります。日本ならではの知恵がたっぷり詰まった1冊です。

なぜ日本にアメリカ軍の基地があるのか  
松本健一著、牧野出版



「日本は独立国家なのに、なぜ国内に外国の軍隊の基地があるの」。改めて、この問題について皆さんで考えてみませんか。

相撲のひみつ  
新田一郎著、朝日出版社



日本の国技である相撲。近年、相撲の世界ではさまざまな問題が報じられています。そもそも相撲とはどんなものなのでしょうか。

英語で話すための 日本図解辞典  
西蔭浩子 トム・ディラン著、小学館



日本文化を英語で発信できたら、すてきですね。この本は、日本の事象を英語で表現するとき役立つ和英形式の図解辞典です。

知識ゼロからの フィンランド教育  
藤田りか子著、幻冬舎



学力世界1位のフィンランドの子どもたち。そんな子どもたちを育てているフィンランドの学校や家庭での教育がわかる1冊です。

LIVE講義 北朝鮮入門  
磯崎敦仁著、東洋経済新報社



今、注目の集まる国といえば北朝鮮が思い浮かびます。世代交代など北朝鮮の現状を知ることができるかもしれません。

図書館情報

図書館を核とする生涯学習拠点施設新築工事



完成予定図



建設予定地

↑ 工事周辺地図

1月15日、図書館を核とする生涯学習拠点施設の建設地が起工式を行いました。いよいよ、市民の皆さんの念願である図書館の建設が始まります。

建設工事が始まったことにより、工事用大型車両が宮田橋付近の出入り口から出入りすることになります。

歩行者や一般車両の安全を最優先に工事を進めていきますが、皆さんのご協力をよろしくお願いたします。

● 工事期間 平成24年3月まで

※ 工事用大型車両の通行は、児童生徒を始め、歩行者の安全最優先を指導徹底します。

※ 現場への出入り口には交通誘導員を配置します。また、工事用大型車両の通行は、朝の通学時間帯は通行禁止としています。図書館建設の工事についてお気づきの点などがありましたらお問い合わせください。

● 問い合わせ 本庁社会教育・公民館係 ☎32・0123

3月のおはなし会

おはなし会に参加すると、シールがもらえます。参加してシールを集めてね。

● とき 3月5日  
田、午後2時から

● ところ 中央公民館 館児童室

図書利用カード

若宮コミュニティセンター図書室で本を利用するには、図書利用カードの登録が必要です。

そこで、若宮コミュニティセンター図書室が開館するとすぐに利用することができ、また中央公民館の図書室でも利用できます。

なお、図書利用カードの登録には現住所が確認できる身分証明書が必要です。登録の際には運転免許証や健康保険証などを持ってきてください。

平成22年4月以降に中央公民館図書室で図書利用カードの登録が済んでいる人は、現在お持ちのカードがそのまま利用できます。

● 2月の休館日 6日、7日、11日、14日、20日、24日、28日

# RS 桜雲館の選手が上位入賞

北九州市長旗争奪西日本少年柔道大会



寒い季節でも、鞍手商業高等学校武道場で練習を積む桜雲館の選手たち。日ごろの努力の積み重ねが、好成績につながっています。

12月4日から5日にかけて北九州市立総合体育館で行われた西日本少年柔道大会。各学年別で二百人前後が参加する大きな大会の中、スポーツ少年団として活動している桜雲館の選手が好成績を収めました。結果は次のとおりです。

- ▼ 幼児の部・準優勝 田代大介
- ▼ 一年生の部・敢闘賞 田代諒介
- ▼ 五年生女子・軽量級の部・敢闘賞 行圓純可

# RS 相談は安心ダイヤル、#9110

ドリームホープ若宮で110番の日イベント

110番の適正利用を推進するために広報活動を行っている今回の取り組み。相談は110番ではなく、「#9110」をお願いします。



物客だけでなく、吉川幼稚園の園児も楽しみました。また、交通安全活動推進協議会の皆さんによる七草がゆも振る舞われました。今後、皆さんのための110番が、本来の目的の通り正しく利用されるように啓発活動を行っていきます。

110番の日を前に、1月7日、ドリームホープ若宮で街頭キャンペーンを行いました。パトカーや白バイの展示も行い、買い物客だけでなく、吉川幼稚園の園児も楽しみました。また、交通安全活動推進協議会の皆さんによる七草がゆも振る舞われました。

# RS 各学校で資源回収に取り組んでいます

市内小中学校で資源回収



「保護者の皆さんの協力もあって回収率は非常に高いです。またエコキャップの回収も昨年から続けています」と話す、宮田西中学校の生徒会長才田大矩さん。

市内小中学校では、新聞などの古紙やダンボール、ペットボトルを回収するボックスを設置し、資源回収を行っています。宮田西中学校も昨年の7月から行っています。柿原明加さんは、「資源の再利用は地球のためにもいいことだし、みんなで協力してできる場所もいいますね」と、環境意識を学校全体で高めたいことを笑顔で話していました。



## ご連絡お待ちしています

コミュニティ活動を広めたいという人でこのコーナーへ記事を掲載したい人は、本庁秘書広報係(☎32・0511)までご連絡ください。

市内にはさまざまなコミュニティがあり、独自の活動をしています。そんな皆さんの活動やイベントをご紹介しますコーナーがリーダーズスタイル(あなたの生活)です。

# RS 自分たちの地域を、自分たちできれいにする

宮田光陵中学校、地域清掃活動



## 一般家庭ごみの不法投棄が目立ちました

不法投棄は犯罪です



落ちているごみをよく見ると、空き缶やたばこのポイ捨てだけでなく、赤ちゃん用のミルク缶や食器など、生活ごみも捨てられていました。また、ごみが固まっていることから故意に捨てられていることが明白です。ごみの不法投棄は明白な犯罪です。



左から水岡優莉奈副生徒会長、窪田耀一生徒会長、そして白土丈博副生徒会長。厳しい寒さの中でしたが、先頭に立ってごみ拾いを行いました。拾うことができました」と話してくれました。

1月22日、宮田光陵中学校の生徒会を中心となつて、部活動の生徒七十八人で地域の清掃活動を行いました。午前八時三十分には作業を開始し、学校周辺のごみを集める取り組みです。一見にきれいに見える通学路でも、一歩踏み込んで見ると空き缶やたばこのごみが次から次へと出てきます。生徒会長の窪田耀一さんは、「日ごろ通っている道を自主的に掃除することで、自分自身の心をきれいにすることができたらと思います。」と話してくれました。

 なかむら しゅうと 中村 柊斗 ちゃん H 20年2月1日生 (山口)	 ふなこし はると 舟越 暖人 ちゃん H 22年2月27日生 (四郎丸)	 ふなこし ゆうと 舟越 悠人 ちゃん H 20年2月23日生 (四郎丸)	 ほし こうたろう 帆土 琥太郎 ちゃん H 22年2月16日生 (水原)	 やすなが じん 安永 神 ちゃん H 22年2月25日生 (鶴田)	 やましろ みきや 山城 樹也 ちゃん H 22年2月13日生 (竹原)	 よしとみ きさき 吉富 后 ちゃん H 21年2月17日生 (宮田)
3歳のお誕生日おめでとう！姉ちゃんにいじ悪しないで仲良く。元気で大きくなあれ！	いつもニコニコ暖くん。これからもお兄ちゃんの愛のムチに負けずたくましく育ってね。	3歳のお誕生日おめでとう。大好きな車のオモチャでいっぱい遊んで元気に育ってね。	琥太ちゃん、1歳のお誕生日おめでとう。これからもいっぱい食べて元気に育ってね。	1歳のお誕生日おめでとう♡いっぱい食べ、遊んで大きくなってネ！	初めてのお誕生日おめでとう。元気いっぱいスクスク育ってね。生まれてくれてありがとう。	いつもわんぱくな后ちゃん！これからもその元気でたくましく育ってね♡

我が家の愛と。市内にお住まいで、満3歳までの宮若っ子を募集しています。3月生まれで掲載を希望する人は2月14日月までに本庁秘書広報係、支所市民グループまでお申し込みください。

**試験**  
examination information

**平和を仕事にする  
自衛官採用試験**

宮若市 自衛官採用

一般幹部候補と一般曹候補生の入隊は平成24年3月からとなります。

- ▶ **一般幹部候補生**
- **資格** 20歳から26歳未満(22歳未満の人は大卒)
- **受付締切** 5月6日(金)まで
- **第1次試験** 5月14日(日)、15日(月)
- **第1合格発表** 6月3日(金)
- ▶ **一般曹候補生**
- **資格** 18歳から27歳未満
- **受付締切** 5月6日(金)まで
- **第1次試験** 5月21日(日)
- **第1合格発表** 6月10日(金)
- **問い合わせ** 自衛隊福岡地方協力本部飯塚地域事務所 ☎0948・22・4847

**講座**  
lecture information

**第3回スローフード講座  
「みそ」受講生募集**

手間ひまかけて作る作業を通して、食生活を見つめ直します。

- **とき・作業** ▷2月22日(日)、午前10時から11時30分まで=麴をつくる▷23日(月)、午前9時から10時まで、午後3時から4時まで=午前と午後の2班に分かれて麴の手入れ▷24日(火)、午前10時から11時30分まで=仕込み
- **ところ** JA直鞭宮田生活教室
- **講師** 金川ムツ子さん
- **参加対象者** 基本的に市内に住んでいて、3日間連続で参加できる人
- **定員** 20人(応募多数の場合は抽選)
- **参加費** 600円(託児・無料)
- **受付締切** 2月10日(日)まで
- ※ 託児は午前9時から10時まで(23日は午前の班のみとなります)
- **申込み・問い合わせ** 本庁社会教育・公民館係 ☎32・0123

**暮らしに役立つ知識を  
出前します**

宮若市 出前講座

普段からの疑問などを学びきっかけとして、市ではまちづくり出前講座を行っています。

- **とき** 年末年始を除き、日程の調整を行い開講します。午前10時から午後9時までの間で行います。
- **ところ** 市内に限ります。申し込む皆さんで準備してください。
- **申込方法** 申込書に必要事項を記入して郵送や電子メール、ファクスで本庁企画調整係に提出してください。
- **定員** 市内に住んでいるか勤めている人、在学している人で原則10人以上のグループ
- **講座メニュー** まちづくり出前講座のチラシや宮若市公式ホームページでご確認ください。
- **問い合わせ** 本庁企画調整係 ☎32・0512、FAX 32・9430

**その他**  
others information

**地上デジタル放送を見るための  
支援を拡大します**

総務省ではNHK受信料の全額免除世帯に対し、簡易なチューナーを無償給付するなどの支援を行っています。今回その支援の対象に「市町村民税非課税世帯」を加えます。

地上デジタル放送に対応できていない「世帯全員が市町村民税非課税の措置を受けている世帯」に、簡易なチューナーを1台、無償で給付します。ご自身で購入したチューナー、アンテナなどの費用の精算はできません。

- **対象者** 生活保護などの公的扶助を受けている世帯、市民税非課税の世帯
- ※ すでに地上デジタル放送を視聴している世帯は支援の対象外です
- **問い合わせ** 総務省地デジチューナー支援実施センター ☎0570・03・3840

**4月から住民基本台帳カード  
交付手数料が発生します**



3月31日で住民基本台帳カードの交付手数料の無料化が終了します。住基カードの取得を

考えている皆さんはこの期間内に申請をすることをお勧めします。戸籍謄本や抄本、住民票の写しの交付を請求する時には本人確認を行います。その時に運転免許証など顔写真入りの公的証明証が必要です。これらを持っていない人は住民基本台帳カードがその役割を果たします。

また、携帯電話の契約や郵便局、銀行で口座を開設する時にも公的な身分証明書として利用できます。住民基本台帳カードの申請は本庁のみの取り扱いとなります。

- **問い合わせ** 本庁市民係 ☎32・0514

**福岡県議会議員一般選挙  
立候補予定者説明会**

4月10日執行予定の福岡県議会議員一般選挙に立候補を予定している人を対象に説明会を行います。

- **とき** 3月14日(日)、午後1時30分から
- **ところ** 福岡県庁講堂3階
- **問い合わせ** 福岡県選挙管理委員会 ☎092・643・3077

**第9回特別弔慰金の請求は  
お済みですか**

遺族年金などを受けていた人が、平成17年4月1日から21年3月31日の間に亡くなり、21年4月1日に年金給付を受ける人がいない場合に戦没者死亡当時の先順位の遺族1人に支給します。すでに特別弔慰金を受けている場合、今回は対象となりません。

- **請求締切** 平成24年4月2日(日)まで(ただし、支給要件があります)
- **問い合わせ** 本庁老人福祉係 ☎32・0515

**後期高齢者医療制度  
健康診査**

後期高齢者医療制度の被保険者を対象に、健康診査を行っています。該当者には、3月末まで受診できる受診票を郵送しています。(昨年4月末から5月上旬に送付した分です)

まだ、受診していない人は、保険証と受診票を持って指定医療機関で受診しましょう。指定医療機関は同封した一覧表に記載しています。

- **費用** 500円
- ※ 受診票をなくした人は再発行します。ご連絡ください。
- **問い合わせ** 福岡県後期高齢者医療広域連合お問い合わせセンター ☎092・651・3111

**地域づくり交流会を  
行います**

笠松地区に住んでいる人や企業に勤めている人を対象とした地域交流会です。

- **とき** 2月6日(日)、午前10時から午後2時(小雨決行)
- **ところ** 笠松研修センター
- **内容** ▷午前10時から午後12時30分まで=芸能発表▷12時30分から2時まで=ちゃんこ鍋やおにぎりの会
- **問い合わせ** 笠松研修センター ☎32・5020



**労働者も雇用者も再確認  
福岡県特定最低賃金**



福岡県特定最低賃金を昨年12月10日に改定しました。ここに該当しない産業は、福岡県最低賃金である1時間692円が適用となります。

- **新最低賃金(1時間)** ▷製鉄業、製鋼・製鋼圧延業、鋼材製造業=824円▷電子部品・デバイス・電子回路、電気機械器具、情報通信機械器具製造業=782円▷輸送用機械器具製造業=805円▷百貨店・総合スーパー=755円▷自動車(新車)小売業=797円
- **問い合わせ** 福岡労働局賃金課 ☎092・411・4578

**「アイネット」で  
一緒に活動しませんか**

「アイネット」とは、視覚障害者とそれを支援するボランティアが集まり活動を行っている団体です。一緒に活動しませんか。

- **活動内容** 毎月1回の定期総会、日帰りバス旅行など
- **年会費** 500円
- **問い合わせ** アイネット事務局 ☎32・4185

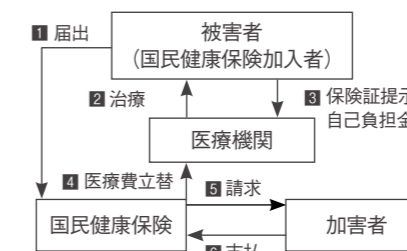
**交通事故にあったら、すぐに警察に、次は国保へ**

- **問い合わせ** 本庁国保年金係 ☎32・4004

交通事故など第三者から傷害を受けて医者にかかった場合も、国保を使って治療を受けることができます。ただし、医療費は加害者が負担すべきものなので、国保が一時的に立て替えをし、加害者に請求することになります。

交通事故にあったらすぐに警察に届け、国民健康保険で治療を受ける場合は、必ず本庁国保年金係に届け出てください。

- **届け出に必要なもの** ▷国民健康保険証▷事故証明書(後日でも可)▷印かん
- ※ 通勤途中の事故の場合は、国民健康保険は使えません。示談をする時は、事前に本庁国保年金係へご連絡ください。



**3月 保健行事カレンダー**

※ 会場はすべて保健センターパレットです。

- 1日(日) : 12カ月児健診**  
受付は午後1時~1時15分
- 4カ月児健診**  
受付は午後1時30分~45分
- 2日(月) : すくすく相談**  
受付は午前10時~11時
- 3日(火) : にここ運動教室**  
健康運動コース  
午後1時~2時  
体力測定コース(要予約)  
①=午前10時~11時まで  
②=午前11時~正午
- 9日(月) : ポリオ予防接種**  
受付は午後1時15分~2時15分
- 15日(日) : 12カ月児健診**  
受付は午後1時~1時15分
- 7カ月児健診**  
受付は午後1時30分~45分
- 16日(月) : かみかみ教室**  
午前10時~正午
- 17日(火) : にここ運動教室**  
健康運動コース  
午後1時~2時  
体力測定コース(要予約)  
①=午後6時~7時  
②=午後7時~8時
- 22日(月) : 1歳6カ月健診**  
午後0時45分~1時15分
- 23日(火) : 離乳食教室(後期・要予約)**  
午前10時~正午

**妊娠がわかったら  
母子手帳を**

医療機関で発行する妊娠届出書を保健センターパレットにお持ちください。



- **交付時間** 平日の午前8時30分から午後5時15分まで(木曜日は午後8時まで)
- **問い合わせ** 保健センターパレット ☎55・6000

**納期**  
tax・premium information

今月の納期（2月）

- 固定資産税 第4期
  - 国民健康保険税 第11期
  - 後期高齢者医療保険料(普通徴収) 第8期
  - 納期限 2月28日(日)
  - 口座振替日 2月22日(日)
- 納期限内に納付しない場合、20日以内に督促状を発送します。その後の納付には100円の手数料が別途必要となります。また、納期限の翌日から延滞金が発生します。(最初の1カ月は年利4.3%、以降14.6%)
- 問い合わせ 本庁収納係 ☎32・1008

**所得税の確定申告、市県民税の申告が始まります**

今年から若宮地区は若宮コミュニティセンターへ会場が変更となります。また、所得税の確定申告については直方税務署でも行うことができます。簡単に便利な電子申告「e-TAX」もご利用ください。

- とき 2月16日(日)から3月15日(日)まで
- ところ 地域交流センター、若宮コミュニティセンター
- 問い合わせ 本庁市民税係 ☎32・0513、直方税務署 ☎22・0880

**相談**  
consult information

所得税の還付申告相談

- とき 2月3日(日)、午前9時30分から正午まで、午後1時から4時まで
  - ところ 中央公民館
  - 主な対象者 ▷年金収入があり、申告すると所得税が還付される人▷会社を退職し、年末調整をしていない人▷多額の医療費を支払った人▷住宅ローンで自宅を新築、増改築した人▷年末調整後に扶養親族、生命保険料控除などの追加がある人
  - 必要なもの ▷平成22年分の源泉徴収票▷平成22年中に支払った医療費の領収書や各種支払保険料控除証明書など▷本人名義の通帳▷印かん(シャチハタは不可)
- ※ 農業や自営業による収入の申告はできません。
- 問い合わせ 直方税務署 ☎22・0880

行政書士による無料相談会

- 「住民の暮らしと財産」をテーマに、各種相談に応じます。
- とき 2月27日(日)、午後1時から4時まで
  - ところ 中央公民館
  - 問い合わせ アソシエイツ宮若 主宰華村公一事務所 ☎42・3955

介護関係へ就職を目指す人へ  
筑豊地域介護施設合同面談会



- 介護関係施設が20社程度参加して、合同面談会を行います。
- とき 2月24日(日)、午後12時30分から3時まで
  - ところ 筑豊ハイツ(飯塚市)
  - 問い合わせ 中高龄就職支援センター ☎092・477・6088

子どもの養育費法律相談

- 母子家庭の養育費など、生活上の問題について無料法律相談を行います。
- 昼間の相談(午後1時から2時間) 2月2日(日)▷3月2日(日)
  - 夜間の相談(午後6時30分から2時間) ▷2月9日(日)、23日(日)▷3月9日(日)、23日(日)
  - ところ クローバープラザ(春日市)
- ※ 相談希望者は、相談日前日までに予約をしてください。(先着順で1日4人、相談時間は30分です)
- 問い合わせ 福岡県母子家庭等就業・自立支援センター ☎092・584・3922

賃貸住宅トラブル電話相談会

- 賃料や敷金、明け渡しなど民間住宅の賃貸借をめぐるトラブルについて、電話で相談に応じます。
- とき 2月27日(日)、午前10時から午後4時まで
  - 電話相談 ☎092・722・4131
  - 問い合わせ 福岡県司法書士会 ☎092・714・3721

泣き寝入りせず  
労働トラブルはこちらへ

- 未払い賃金や解雇などの労働トラブルは司法書士が無料で電話相談を受けます。
- とき 毎週火曜日、午後7時から8時まで
  - 電話相談 ☎092・477・8160
  - 問い合わせ 福岡県司法書士協議会 ☎092・524・2332

**募集**  
invite information

ちびっこ探検学校ヨロン島  
参加者募集

- 鹿児島県与論町で、全国からの参加者と共同生活や野外活動を行います。また、日本に在住する外国人の小学生も参加することで国際協調の心も育みます。(小学2年生以上が対象)
- とき 3月27日(日)から4月2日(日)までの6泊7日
  - ところ 鹿児島県大島郡与論町
  - 参加費 124,000円(福岡空港利用の場合)
  - 定員 ▷日本人小学生=200人▷外国人小学生=110人
  - 募集締切 3月7日(日)(先着順)
- ※ 2月20日、午後3時30分から深見ビル(福岡市)で説明会を行います。
- 問い合わせ (財)国際青少年研修協会 ☎03・6459・4661



青少年アンビシャス運動  
シンポジウム参加者募集

- 福岡県 アンビシャス 検索
- 子どもたちが持っている個性や能力を育て、将来の目標に向かって挑戦していける社会づくりについて考えてみませんか。
- とき 3月6日(日)、午後1時30分から4時まで
  - ところ アクロス福岡(福岡市)
  - 定員 700人(先着順)
  - 講演 「夢を追いかけて」
  - 講師 武田美保さん(シンクロスイマー・ピラティスインストラクター)
  - 申込方法 インターネットやファクス、ハガキで住所・氏名・電話番号を記入の上、お申し込みください。
  - 募集締切 2月23日(日)まで
  - 問い合わせ 青少年アンビシャス運動推進室 ☎092・643・3615、FAX 092・643・3615

特別支援教育支援員  
募集登録

- 小中学校で特別に支援を要する児童生徒の支援員募集登録を行います。
- 資格 特別支援教育や発達障害に理解があり、小中学校の児童生徒の支援ができる人(教員経験者や障害者ヘルパーの資格者などを優先的に任用することもあります)
  - 勤務地 宮若市内小中学校
  - 勤務形態 学校開校日の週20時間以上29時間以内。学校行事などで土、日曜日の勤務もあります。
  - 時給 900円(労働災害補償保険有)
  - 登録方法 履歴書を本庁学校教育係に提出してください。教員免許などの資格がある人は写しの添付をお願いします。郵送も受け付けます。
  - 任用期間 1年間(更新あり)
  - 募集締切 3月1日(日)まで
- ※ 履歴書による書類選考の上、登録者の中から面接を行います。4月1日以降に必要に応じて、任用していくこととなります。
- 問い合わせ 本庁学校教育係 ☎32・1007

**NUMBER INFORMATION** 数字で見る宮若市

● 12月31日が基準日

**事故・犯罪** 飲酒運転撲滅

交通事故	件数	平成22年の累計
件数	18件	203件
死者	0人	0人
負傷者	19人	250人

窃盗犯罪内容	件数	平成22年の累計
車上ねらい	2件	29件
部品ねらい	0件	12件
乗り物盗	1件	31件
自販機ねらい	0件	5件
空き巣など	0件	29件

**火災** 住宅火災警報機設置しましたか?

火災種類	件数	平成22年の累計
建物火災	1件	8件
その他火災	0件	7件
死者	0人	0人

**ごみ** 第2、第4日曜日は資源回収の日です

種類	重さ
ごみ量	720,310キロ
資源回収量	7,701キロ
1人当たりのごみの量	23.5キロ

※ ごみ減量目標は総合計画に掲げたもので1人が1カ月に出すごみの量を24.3キロ以内にしようとするものです。

**人の動き**

人口	42人 減りました	30,645人
男性	37人 減りました	14,462人
女性	5人 減りました	16,183人
世帯数	13世帯 減りました	12,953世帯
~14歳	12.5%	3,845人
15歳~64歳	59.8%	18,315人
65歳~	27.7%	8,485人
出生	17人	転入 84人
死亡	41人	転出 102人

**猫好きの人もそうでない人も一緒に  
第2回みやわかニャンニャンまつり**



- 今年も2月22日の「猫の日」に併せて、みやわかニャンニャンまつりを行います。
- とき 2月19日(日)から22日(日)、午前10時から午後5時まで
  - ところ 若宮商工会館
  - マイペット写真展 撮影した写真や画像と猫の名前、紹介メモ、

- 問い合わせ 宮若追い出し猫振興会 ☎55・5625 若宮商工会 ☎52・0640 本庁商工観光係 ☎32・0519

- 撮影者の名前、住所、電話番号をお送りください。2月14日(日)必着にて受け付けます。(1人1点までの応募とします。送付先は宮若追い出し猫振興会[宮若市脇田16]まで)
- 猫バスの運行 ▷とき=2月19日(日)・20日(日)、午前11時と午後1時の1日2便▷運行区間=若宮商工会館から猫塚公園まで(往復)▷定員=1便25人(先着順)▷参加料=500円(おみやげ付き)
  - 追い出し猫の給付け体験教室 午前10時と午後2時の2回行います。(先着222人で参加費が1人222円)
- ※ その他、追い出し猫のお菓子やグッズの展示即売、猫まんま定食(限定食)、猫神社や合格特別祈願所を設置するなど、盛りだくさんのイベントで皆さんをお待ちしています。

# きらびと

プロ総合格闘家  
上田 将年 さん

あこがれのプロ格闘家と消防士という二つの夢を実現させようとする一人の青年がいます。長井鶴在住の上田将年さん。  
上京し、テレビで見たあこがれの選手を前に現実を突き付けられ、この宮若市から再起を誓ったあの日…。夢を実現させるための練習を積み重ねてきました。  
今月のきらびとはプロ総合格闘家、上田将年さんの「夢への過程」にスポットをあてます。

## 場所は関係ない ふる里からプロになる

「テレビから流れてくるプロレスやK-1を見て格闘技にあこがれをもち、宮田中学校では柔道を高校では空手をやってきたこともあって思った以上に簡単にプロになれると考えてい

ましたね」と話す上田将年さん。周囲の友だちにもプロを目指すことを話していたこともあり、田川市の総合格闘技の道場の門をたたきます。

「当然といえは当然なのですが、簡単にプロになれるということはなく、初めてのスパarringで痛い目にあいました。でも、その時、目が覚めま

した。当時は専門学校に通いながら警備会社に勤めていました。がむしろに練習を積んだこともあり、アマチュアの試合で勝ち始め、本気でプロを目指そうと決心しました。

決心を固めてからの行動は早く、働いていた警備会社を辞め、貯金したお金を元に上京。そして数ある総合格闘技の団体の中でもプロになるのが難しい「修斗」に所属します。

「東京に来て、テレビで見たあこがれの山本K-1D選手と練習試合ではありますが、対戦させていただけ機会がありました。何もかも圧倒され、その実力差を肌で感じる事ができました。」

そんな中、プロになるための大会に出場したのですが、九州の選手に一分もしないうちに負けてしまったんです。その時、「自分の気持ちさえあれば、場所は関係ないのでは」という思いが込み上げてきたのです。東京の空気を吸っていることで強くなったような気がしていたのかもしれない。

プロになるならこの宮若市出身としてやりたいという思いから地元で一年の練習を積み、翌年の大会でベスト3に入賞。9月5日に念願のプロになることができたのです。

「このプロになるまでの二年間は本当にいろいろなことがありました。支えてくれた師匠を始め、ジムの皆さんや友だち、そして家族に感謝し



週4日から5日間ほど練習をする上田さん。そのスタイルは実戦を意識したもの。同じジムには8人在籍。階級はそれぞれ異なる中、次の試合に向けてひたすら練習を積んでいく。

ています。

多くの皆さんの中には格闘技に対していいイメージを持っていない人も多いと思います。私が格闘技に魅せられるのは勝負は常に1対1であるところからです。負けたら誰のせいでもなく自分の実力不足にあります。そんな自分を追求していきけるスポーツに大変魅力を感じています。」

今、プロとしてのスタートラインに立つ一方で、もう一つの夢があると話す上田さん。

「トップレベルの選手たちもそうだったのですが、プロとはいえ格闘技だけで生活していくことはできません。私はプロの格闘家になるという夢とは別に、小学生からの夢である消防士になるため練習の後には勉強をしています。二つの夢を実現させることは難しいことなのかもしれませんが、自分がやるのかやらないのか。ただそれだけだと思います。」



## 上田 将年さん (うへだまさとし)

昭和62年9月19日生、23歳。テレビで見た格闘技にあこがれ、始める。9月5日、出場した大会でベスト3位に入賞しプロ総合格闘家へ。バンタム級のため試合時には6キログラム以上の減量を行う。「夢は逃げねえ。逃げているのはいつもためえ自身だから」という言葉を胸に目標に立ち向かう。

